

「障害者週間」をご存じですか?

障害者基本法（第九条第一項）

〔障害者週間〕

国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため、障害者週間を設ける。

12月3日～9日は「障害者週間」です



第137号

(共同募金からの助成金の一部で作成しています。)

編集 NPO法人 埼玉県障害者協議会

編集責任者 田中 一

〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1  
埼玉県障害者交流センター内

TEL048(825)0707 FAX048(825)3070

メールアドレス ssk080321@z03.plala.or.jp

発行 NPO法人 埼玉障害者センター

〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1

埼玉県障害者交流センター内

TEL・FAX 048(833)7027

発売日 毎月10日、20日、30日

定価 一部 100円(購読料は会費に含まれます)

# 令和2年度を迎えるにあたって

～埼玉県障害者協議会は、障害者・難病者・家族・関係団体とともに歩み、共生社会をめざし、今年40周年を迎えました。～

NPO法人 埼玉県障害者協議会 代表理事 田 中 一

はじめ  
一

## ●はじめに～結成40年を迎えて～

NPO法人埼玉県障害者協議会は、1981年「完全参加と平等」を掲げた国際障害者年を契機に県内の障害者団体が加盟する団体加盟組織として結成されました。今年結成40周年を迎えます。40周年記念誌発行の記念事業を予定しています。節目から見えた風景、足跡を振り返るとともに、これから10年に向けての展望と未来について交流し語りあいましょう。

さて、戦後75年が経過して、わが国では、2040年に向けて現役世代の人口が急激に減少することで、社会保障制度の維持が困難になることが予想されています。国・地域が大きく変貌して、少子高齢化の進行と認知症高齢者や障害者、単身世帯の増加が進んでいきます。

40年の節目を迎えて、いま障害者団体もその大きな社会変革の波の中で会員の減少、会員と役員の高齢化問題、組織の「在り方・存続」が問われています。先人たちのこれまでの運動で福祉施策の充実が図られてきましたが、福祉、医療、雇用、教育、まちづくりなど様々な障害者施策の更なる充実を図るために、私たちは立場の違いを乗り越えてまとまっていかなければなりません。

次の50年に向けて、加盟団体はもとより

様々な関係する団体とも連携して、地域共生社会を目指すために障害者権利条約を学び、地域社会で実践していくことが必要です。

## ●障害者を取り巻く状況

新型コロナウィルスの世界的な感染拡大を踏まえ、オリパラは2021年夏に延期になりましたが、このような世界最大のスポーツの祭典を契機に、共生社会を目指すために、心と社会と街のバリアフリー化が進むことを期待しています。2020年は、障害分野で節目に当たる出来事があります。自立支援法違憲訴訟に基づく基本合意から10年、津久井やまゆり園事件の1審の死刑判決を控訴せず、死刑が確定しました。私たちはこれからも差別と偏見に対する「内なる優性思想」と向き合い、乗り越えていく絶え間ない努力が求められています。全世代型社会保障改革の国会審議、障害者権利条約に対する日本の報告書の審査(ジュネーブの国連欧州本部で、夏に予定)などがあります。

以上のこと踏まえ、当協議会は、障害者が日常生活及び社会生活全般で、生きがいと豊かな暮らしが実現できること、そして障害者差別解消法の目的である共生社会の実現をめざし、多様な活動をすすめていきます。

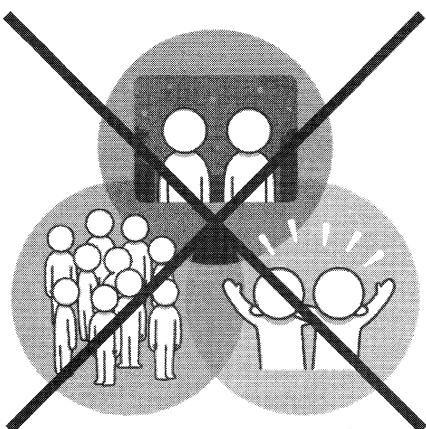
## 新型コロナウィルスの集団発生 防止にご協力をおねがいします。

(厚生労働省ホームページより「3つの密を避けましょう」から引用)



新型コロナウィルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。

日頃の生活の中で三つの「密」が重ならないように工夫しましょう。



### <3つの密>

- ①換気の悪い**密閉空間**
- ②多数が集まる**密集場所**
- ③間近で会話や発声をする**密接場面**

### 「埼玉県心臓病の子どもを守る会」

埼玉県障害者福祉推進課長賞 受賞



3月29日、機関紙コンクールが埼玉会館で行われました。埼玉県障害者福祉推進課長賞に「埼玉県心臓病の子どもを守る会」さんが受賞するなど、6紙が選ばされました。

### 第5回 機関紙コンクール

### 入賞団体紹介

埼玉県障害者福祉推進課長賞…埼玉県心臓病の子どもを守る会

埼玉新聞社賞…社会福祉法人 ごきげんらいぶ・後援会

埼玉県機関紙協会賞…上尾市手話通訳問題研究会

NPO法人埼玉県障害者協議会賞…埼玉県自閉症協会

NPO法人埼玉障害者センター賞…社会福祉法人 みぬま福祉会・後援会

特別賞…社会福祉法人 緑の風福祉会

# 埼玉県障害者施策推進協議会の動き

～令和2年度は第6期埼玉県障害者支援計画策定年度です～

たなかはじめ  
埼玉県障害者施策推進協議会委員 田中一  
(埼玉県障害者協議会代表理事)

## ●令和元年度の動き

### (1) 本会議について

令和元年5月28日から始まった1期2年の今期（委員は20名。構成委員は、障害者、障害者の福祉に関する事業に従事する者、学識経験のある者、公募に応じた者、関係行政機関の職員、令和3年5月27日までの任期）の本協議会の大きな課題・任務は、第6期埼玉県障害者支援計画の策定に参画することである。

本会議を3回、ワーキングチームの会議を3回開催した。第1回本会議を6月に開催。議事は現在の第5期計画の実績評価、重点課題の選定、ワーキングチームの編成、年間スケジュールの確認であった。第5期の各施策の実施状況（平成30年度実績）は評価A374施策、評価B12施策、評価C2施策、集計中1施策であった。評価ランクの一番悪いCの2施策の一つは、【ワークシェアリングなど障害者の多様な働き方を研究し、市町村に情報提供を行うという事業（担当課：障害者福祉推進課）】については、団体との話し合いを通じた情報収集をできなかつたため、今後は団体からの情報収集に努め、情報提供をしていくということであった。もう一つは、【健

康づくりの推進：農業体験、アニマルセラピーなどの手法による心身の健康づくりを推進事業（担当課：生活衛生課）】であるが、参加ボランティアや活動犬が高齢化し、引退する者が増えているため必要なボランティア、活動犬の確保ができなかつた。今後は参加ボランティア、活動犬の養成を図ることであった。

2回目の会議は、10月に開催し、ワーキングチーム検討結果報告（中間）。3回目を2月に開催し、ワーキングチーム検討結果報告（最終）、次年度重点課題の検討が議事であった。

### (2) ワーキングチームについて

ワーキングチームは3チーム編成。委員は希望する一つのチームに所属。Aチームは「障害者の人権擁護の推進に係る取組み」、Bチームは「子ども期から社会に出る時期までに係る取組み」、Cチームは「成人期から高齢期全般に係る取組み」について協議継続中である。筆者は、Aチーム（7名）に参加しているので、ここではAチームの検討内容について報告していきたい。

(4ページ目へ続く)

(3ページ目より続く)

3回（7・11・1月）のワーキングを開催。第6期埼玉県障害者支援計画策定に盛り込む内容について、Aチームからの提案事項は、以下の6点である。

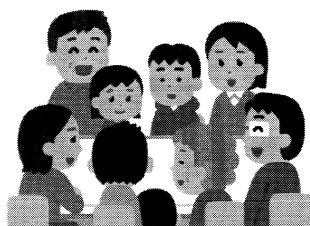
- 1) 優性思想と向き合いすべての人が傷つけられない社会づくり
- 2) 福祉教育の推進と福祉教育ヒューマンライブラリーの創設
- 3) 学校事務職で障害者雇用を進める
- 4) 特別支援教育支援員等の配置状況の公表
- 5) 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の防止策
- 6) 保育所等、学校の長、医療機関における障害者虐待防止の責務の強化

項目ごとの説明は、紙面の都合上省略するが、令和2年度も計画策定に向けて議論を深めたいと思っている。

## ●終わりに

埼玉県障害者支援計画は、障害者施策を総合的かつ計画的に推進するため、福祉、保健、医療、雇用、教育、街づくりなど、多様な分野にわたる取組みをまとめた計画です。市町村の計画策定のベースになるものです。

令和2年度は、6期の計画策定の大変な年度です。傍聴もできますので、施策推進協議会の動きに关心を持っていただきたいと思っています。



## 40周年記念事業について

特定非営利活動法人埼玉県障害者協議会は、障害者・難病者・家族・関係団体とともに歩み、共生社会をめざし、今年40周年を迎えました。

記念誌発行事業を予定しています。皆様と40年という歳月を振り返り、これから障害者福祉の在り方を考える機会にしたいと思います。この10年で制度の充実は進みました、共生社会を目指すため、心のバリアフリーを進める新たな10年に向かって歩んでいきたいと思います。

### <賛助会員加入のお願い>

埼玉県障害者協議会の目的に賛同しご協力頂ける、個人及び団体を募集しております。

賛助会員には年8回の会報の送付、各種研修会・講演会などのご案内を送付いたします。

賛助会員の会費は、年一口 2,000円 です。入会をご希望の方は、右記の口座へお振込み下さい。

特定非営利活動法人 埼玉県障害者協議会

### <郵便振替>

#### 【口座番号】

00130 - 9 - 673233

#### 【口座名称】

とくていひえいりりかつどうほうじん  
特定非営利活動法人  
さいたまけんしょうがいしゃきょううぎかい  
埼玉県障害者協議会

### ◇ 編集後記 ◇

新型コロナウィルスの報道で、4月7日に緊急事態宣言が発令されました。

連日報道される内容を良く確認し、手洗いうがい・マスク着用・咳エチケットを守りつつ生活していきたい。（伊島）